

だれにも当てはまる日常のできごとを

人間味のある、あるがままの目でユーモラスに綴る

CL diary #50

むーらん



chiaf

1月13日（火）

朝の通勤電車は最寄りの駅が発車なので、私は毎日座ることができる。私がどこに座っていても、私の横には、毎日、次の駅から乗ってくる同じ人が立つ。ところが、今日はその人は別の人の横に立った。急にどうしたのだろうと思ったら、彼女の前に座っている人が、私の降りるひとつ前の駅で降りたのだ。彼女は空いた席に座った。納得した。少しでも長く座りたいという目的のための行動だった。

1月20日（火）

入金する際の手順書を作るという作業が、職場の全部の課に通知されていた。余分な仕事だし、面倒だな…と思いつつ、そのままにしていたら、いよいよ締切が来週に。もう時間がないのでしかたなく手をつけた。今日1日作業して、ようやく出来上がりの目処がついた。嫌々していてもいつか終わりがくるもの。まず手をつけることが大切なのだと改めて思った。

2月5日（木）

荷物のたくさん入る、もう少し大きいカバンが欲しいなとずっと思っていて、やっとそのカバンが買えた。早速使い始めたのだが、肩に掛けるとすぐに落ちてきたりして、意外に使いにくく、結局、今日からはまた、使い慣れた前のカバンを使っている。なかなか思い通りにはならないもの。

2月21日（土）

好きな作家さんのサイン会のため大阪へ。帰りは少し贅沢しようと、特急の切符を買っておいた。速いし座れるし。でも、待ち時間がかなりあって、待っているだけで疲れてしまった。こんなことなら、さっさと普通で帰ってもよかったかも…。乗ってしまえば、確かに楽だったけれど。

3月7日（土）

母との買い物の帰り道、いつもはすんなりいける坂道で、今日は途中で止まってしまった。坂道発進をしようと思うのだけれど、どうしてもうまくいかず、後ろにずるずる下がってしまう。このままでは後ろの車にぶつかってしまう！気持ちばかりがあせってしまって。すると母が「後ろの車に先にいってもらい」と。そうだ、こういうときこそ、次に何をなすべきか。まず、ブレーキを引いて後ろの車の人に事情を説明して、先に行ってもらおう。それからもう一度やってみると、今度はなんとかうまくいった。もう汗だく…。

3月16日（月）

職場のねこ友達のIさん。今日久しぶりに話したら、同居していたねこが2匹とも死んでしまったそう。とても可愛がっていた子たちなのにね。私だって、うちの子たちといつか別れが来る。世の中に移り変わらないものはないことはわかっているつもりだけれど…。切ない。

3月24日（火）

職場に電話がかかってきて、うちの課が管理している駅の施設のトイレが詰まって流れない、との連絡。確かにそう聞いたつもりだったのだが…。同じ課の人が見に行ってくれて、すると詰まっていたのはトイレではなくて手洗い場だったそう。ひょっとすると詰まったということで、トイレだと思い込んでしまったのかも。もっとしっかり事実を確認すべきだった。(滋賀県滋賀郡CLインストラクター)

 [目次へ戻る](#)